

克災戦略研究会の論点と議論の概要

第1回研究会の論点

- 水害で自衛するための視点
- 克災に役立つ製品やシステムの作り方及び普及
- 研究会の進め方

第一回研究会の議論の骨格

克災に取り組む背景、現状

(1) 克災に取り組む必然性 「なぜ今、克災なのか」

水害に対する名古屋圏の脆弱性

(2) 水害等の災害現場における現状

水害において事前・事中・事後のそれぞれの局面で人材、物などが求められている
水害の事中における人命救助などは地域での共助が重要である
水害対策が非日常となっていることから、防災に強い暮らし方、住まい方など日常生活に防災を取り入れる仕組みが必要

解決すべき課題(弱点・ニーズの把握)

(3) 水害への対応の観点

水害における事前・事中・事後の各局面で行動を把握した上でどのように対応していくべきか
効果的に防災対策を進めるには、大規模組織と機動的な小規模組織でそのように役割分担していくべきか

克災を目指した物づくり観点

- 市場性のある防災製品の発掘の方策
- 日常生活の延長線上にある防災製品の開発を進展させる方策
- フェイルセーフの考え方を生かした安全に暮らすための手段

企業の役割観点

- 最先端の技術を新たに防災へ活用する方策
- 非常時における企業市民としての役割はどのようにあるべきか

克災を目指した人づくり観点

- 非常事態に対応できる人材の育成、活用の方策
- 育成された人材による地域の防災(共助)のあり方はどのようにあるべきか
- 地域に伝わる防災の知恵などを伝承し活用するための方策

第2回研究会の論点

- 克災に向けた課題の整理
- 課題克服のためのプロジェクトの提示

第二回研究会の議論の骨格

解決への取り組み(弱点の克服やニーズに対応したプロジェクト)

克災住宅プロジェクト

洪水に対し個人の自衛力を高めつつ、安全に暮らすため、生活の基盤である住宅において、水害への安全性・耐久性を高めるとともに、効果的な防災機能を持たせる

克災ダビンチ研究会

一流最先端企業の技術者や大学等の研究者を講師に招いて、防災機関の担当者、NPOなどとコミュニケーションを図る場を設けることで、新たな技術と必要とされる防災装備等のニーズが明らかにし、克災に向けた製品開発などの新しい展開を図る

地域の防災力向上プロジェクト(仮称)

近年地域の繋がりが希薄となっているため、平時から地域の連携を強化する取り組みを実施し、地域住民が自らの身の安全は自らが守るという意識高め、地域の防災力向上を図る

(4) プロジェクトのアウトプットイメージ

克災戦略としての具体的な提案
個別の研究会・ワーキングへの発展
克災のためのシステムの構築、イベントなどの展開